

4	子供政策連携室	子供目線に立った取組の推進
事業概要	都は、「未来の東京」戦略において子供政策を中核に位置付けるとともに、子供をあらゆる場面において権利の主体として尊重することなどが規定された「東京都こども基本条例」の施行等を踏まえ、子供政策連携室を設置し、子供目線に立った取組を推進している。	
これまでの経過	令和 2 年 9 月～ こども未来会議の開催 令和 3 年 4 月 東京都こども基本条例 施行 令和 3 年 12 月 こどもスマイルムーブメント スタート 令和 4 年 4 月 子供政策連携室 発足 令和 5 年 1 月 「こども未来アクション」公表 令和 5 年 7 月 「チルドレンファーストの社会の実現に向けた子供政策強化の方針 2023」公表 令和 6 年 2 月 「こども未来アクション 2024」公表 令和 6 年 8 月 「チルドレンファーストの社会の実現に向けた子供政策強化の方針 2024」公表 令和 7 年 1 月 「こども未来アクション 2025」公表	

現在の進行状況	1 こども未来会議 ○「子供が笑顔で子育てが楽しいと思える社会」の実現に向けて、従来の枠組みに捉われない幅広い視点で議論を行うことを目的として、令和2年9月に設置 ○子供政策の学識経験者・有識者・著名人からなる委員で組織し、これまで13回実施 2 こどもスマイルムーブメント ○社会の様々な主体との連携の輪を広げ、官民一体となって「子供の笑顔があふれる社会」「安心して子供を産み育てられる社会」を目指す取組として展開 ○1,900を超える参画企業・団体がこどもスマイルムーブメント宣言に賛同し、子供の笑顔につながる子供の目線に立った様々な取組を展開 ○令和6年10月以降の主な取組 令和6年10月 こどもスマイルムーブメントアンバサダー ソニー元CEO 平井一夫さんによる特別授業を開催 11月 令和6年度 こどもスマイルムーブメント大賞 受賞企業・団体が決定 令和6年度 こどもスマイルムーブメント大賞表彰式を開催 育業応援プロジェクトの事業者決定 「育児と仕事の両立」体験の募集を開始 就職を予定する大学生等の「育業」に関する意識調査結果を公開 12月 「ティーンズ・アイデアコンテスト」審査会及び表彰式を開催 ラジオ番組「伊集院光のタネ」こどもスマイルムーブメント特別回を放送 (出演：アンバサダー 伊集院光さん、尾木直樹さん) こどもアンバサダー村山輝星さん出演のラジオCMを放送 令和7年1月 「こどもスマイルムーブメント」参画企業・団体と連携し、パラスポーツ体験やデジタル遊びのイベントを輪島市で開催 (1月から2月にかけて2回開催) 2月 企業等の管理職向け「育業」研修教材を公開 田畑智子さん&津田寛治さんが出演する育業ベストエピソード動画を公開 こどもスマイルムーブメントアンバサダー8名全員が出演するPR動画を公開及びポスターを公開 3月 「育児と仕事の両立体験」の動画を公開 3 「東京都こども基本条例」の理解促進に向けた普及啓発 ○東京都こども基本条例ハンドブックや解説動画を活用し、子供、教員、保護者等への条例理解を促進 ○国内の子供政策の先進自治体の子供と都内の子供が一堂に会し、交流・意見交換をするシンポジウムを実施 ○東京都こども基本条例ハンドブックや解説動画の対象世代ごとに訴求力のあるチャネルを効果的に選択し、プッシュ型広報を展開 ○小学生を対象に条例の理念を普及啓発するポスターコンクールを開催 ○海外の子供政策先進都市（ブリュッセル市等）を訪問し、子供が条例ハンドブックも活用しながら、条例の理念を具体的に学び、かつ、自らの言葉で主体的に発信 ○海外の子供政策の先進13都市等から実務責任者を招聘し、子供政策の課題を共有・議論
---------	--

現在の進行状況	4 子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進 ○幅広い年代の多くの子供から意見を聴くとともに、子供が思っている率直な意見を引き出し、一人ひとり異なる環境下にある子供の声もしっかり聴き取ることができるよう、多様な手法で子供の意見を聴取 ○子供に関する実態や意識の変化を定点で把握・分析し、エビデンスに基づく実効性の高い子供政策を推進するため、子供に関する定点調査を実施 ○子供政策連携室の主な取組：子供の居場所におけるヒアリング、SNS を活用したアンケート、学校での出前授業、こども都庁モニター、中高生 政策決定参画プロジェクト、こどもワークショップ、子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート～みんなと考える「いま」と「みらい」～」 5 推進チームによるリーディングプロジェクト ○子供や子育てが直面する複雑化・複合化した今日的課題など、既存の枠組みでは対応が難しいテーマごとに、子供政策連携室が核となり、政策分野の垣根を越えて関係局からなる推進チームを組成し、リーディングプロジェクトとして組織横的な取組を展開 【推進チーム】 ・乳幼児期の子育ち - CEDEP（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター）と連携の下、全ての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラム「とうきょう すくわくプログラム」を都内全域で展開 ・子育てのつながり創出 「定期訪問等による見守り」及び「傾聴・協働による伴走支援」に取り組む6自治体への支援を実施 - SNS 等を活用し、日常的な不安や悩みを相談できる環境を構築 ・学齢期の子育ち - フリースクール等の利用者等への支援や都内フリースクール等への支援事業、学校外の多様な学びの調査研究等を実施 ・子供を事故から守る環境づくり - 産官学民連携の下、「変えられるものを変える」の視点で事故予防のサイクルを回しながら、子供の事故が起きにくい環境づくりを推進 ・子供の笑顔につながる「遊び」の推進 - 子供の意見を踏まえて、子供の遊び場等を基盤整備する8自治体を支援 「子供が“自由な発想”で“工夫”して遊ぶ」をテーマとした11の体験型プロジェクトを実施することで、地域や自治体と連携しながら、多種多様な「遊び」体験の機会を創出 - プレーリーダー研修を実施するなど、質の高い遊びの環境づくりに取り組む区市町村を支援 ・ヤングケアラーを支える - ヤングケアラーについて認知し理解を深めてもらうため、制作した専用ホームページ「ヤングケアラーのひろば」を戦略的に広報し、情報発信を実施
----------------	--

現在の進行状況	- 日本語を母語としない子供を支援 「学習」「相談」「交流」等の機能を一体的に備えた地域の居場所として、多文化キッズサロンを設置する4自治体を支援 - ユースヘルスケア ユース（10代の子供・若者）に知ってほしい健康管理情報について、ユース目線で発信するホームページ「TOKYO YOUTH HEALTHCARE」を運営し、ユースヘルスケアの普及啓発のため、SNS発信や著名人を活用した広報を展開
----------------	---

今 後 の 見 通 し	1 こども未来会議 ○「子供が笑顔で子育てが楽しいと思える社会」の実現に向けたテーマを選定の上、適宜開催し、専門的見地から多角的な議論を展開 2 こどもスマイルムーブメント ○取組を更に加速させるため、幅広い主体の連携を都が促進しリーディングモデルとなるコア・アクションの推進、参画企業・団体によるアクションの促進及びこどもスマイルムーブメントの普及啓発を効果的・相乗的に推進 3 「東京都こども基本条例」の理解促進に向けた普及啓発 ○国内外の子供政策先進都市等の子供と都内の子供が一堂に会し、意見交換等をするシンポジウムを実施 ○学校等を訪問して出張型条例ワークショップを展開するとともに、子供たちと日常的に接する大人への普及啓発を実施 4 子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進 ○子供の意見やエビデンスを捉え、都庁全体で子供目線に立った政策を推進 5 推進チームによるリーディングプロジェクト ○乳幼児期の子育ち 安心して実践に取り組める支援体制の提供や戦略的広報の充実等、多面的な取組を展開し、実践圏の拡大を推進 ○子育てのつながり創出 子育て家庭への支援充実に向け、実効性のある取組を推進 子供・子育てメンター事業では、利便性の高い相談環境の創出に向け、回線数の拡大やAI の活用、多言語対応を実施するなど、利用者サービスを一層充実 ○学齢期の子育ち 学校生活になじめない子供に対して、多様な学び・居場所の創出を推進し、子供が自分らしく学び生活できる環境を整備 ○子供を事故から守る環境づくり 産官学民によるオープンデータベースの利活用や戦略的な情報発信等により、事故予防のサイクルを効果的に回し、子供の事故が起きにくい環境づくりを推進 ○子供の笑顔につながる「遊び」の推進 子供が身近な場所で、伸び伸びと遊び、他者との交流を通じて多様な体験ができる環境づくりに向け、多面的に取組を推進 ○ヤングケアラーを支える 当事者の意見を尊重し、本人が直面する実情や気持ちに寄り添いながら、多機関連携の下、多面的かつ切れ目のないサポートを実施
今 後 の 見 通 し	○日本語を母語としない子供を支援 日本語を母語としない子供の地域や学校への適応を支援するとともに、心理面や生活面等の支援を行い、子供が自分らしくいきいきと活躍できる社会を目指す ○ユースヘルスケア 「ユース目線」の更なる反映により、ユースの意識向上と行動変容を促進するとともに、そのニーズに応える支援体制を一層充実

問合せ先	子供政策連携室 企画調整部 企画調整課、 プロジェクト推進課	電話	03-5388-3812 03-5388-3814
------	-----------------------------------	----	------------------------------